

競輪業界における ギャンブル等依存症対策

函館競輪場

ギャンブル等依存症対策推進基本計画(H31.4.19策定) 競輪部分抜粋

1 広告・宣伝の在り方

全国的な指針の策定による広告・宣伝の抑制，普及啓発の推進

2 アクセス制限等

個人認証システムの導入による本人・家族申告によるアクセス制限，
20歳未満の者への購入禁止の強化，
購入限度額設定システムの導入によるインターネット投票のアクセス制限，
競輪場，場外売場のATM撤去

3 相談・治療につなげる取り組み

自助グループ等の民間団体への支援，
公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター等の相談強化，セルフチェックツールの開発

4 依存症対策の体制整備

従業員教育の推進，体制の強化

※ 基本計画・・・資料1

[これまでの取り組み]

1 お客様周知・注意喚起

- TVCM、開催告知ポスター等における注意喚起文の明示
- 競輪場等における注意喚起チラシ、ポスター、ステッカーの掲示、貼付 **(資料2)**
- 競輪場等における場内のモニター、大型ビジョン、デジタルサイネージ、場内放送、出走表への印字等による注意喚起 **(資料2)**
- 未成年者のみの入場者に対する警備員の声掛けの強化
- KEIRIN.JP、発売サイト、競輪場等のホームページにおける注意喚起及び問合せ先の周知
- 公営競技共通の広告指針の策定および競輪の広告・宣伝ガイドラインの策定 **(資料3)**

2 相談窓口

- 競輪場等における相談窓口の設置，相談窓口の案内・明示（資料2，資料4）
- 公営競技共通の一元的・専門的相談窓口として「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」を設置、運営（資料5）

3 体制整備・強化

- 依存症対策に関する施行者担当者及び責任者の選任
- 施行者担当者向け研修会、JKA役職員向け研修会の実施
- 全輪協及びJKAで構成する「競輪ギャンブル依存症対策推進会議」の設置（資料6）
- 競輪ギャンブル依存症対策実施規程の策定（資料7）

4 アクセス制限の強化

- 本人又は家族からの申請によるアクセス制限実施のための仕組みの構築（施行者規則改正、運用基準の整備）（資料8）
- インターネット投票における購入限度額設定の仕組みの導入（2022年度実施予定）（資料9）

5 のめり込み防止策・その他

- 競輪場等におけるATMのキャッシング機能の廃止及び順次撤去
- ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発ポスターの作成、大学生を対象としたセミナーの開催（資料10、11）
- JKA補助事業において依存症対策事業が補助の対象であることの適切な周知（資料12）
- セルフチェックツールの作成（資料13）